

平成 27 年 8 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社カイオム・バイオサイエンス  
代表者名 代表取締役社長執行役員 CEO 藤原 正明  
(コード：4583 東証マザーズ)  
問合せ先 取締役執行役員 CFO 清田 圭一  
(TEL. 03-6383-3746)

## 営業外収益、特別損失及び特別利益の計上に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 12 月期第 2 四半期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 6 月 30 日）におきまして、下記のとおり営業外収益、特別損失を計上いたしましたので、お知らせいたします。また、平成 27 年 12 月期第 3 四半期（平成 27 年 7 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日）におきまして、特別損失及び特別利益を計上する見通しとなりましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 営業外収益の内容（連結決算）

当社の 100%連結子会社である株式会社リブテック（平成 27 年 7 月 1 日付で当社に吸収合併され解散。以下「リブテック」といいます）と株式会社ヤクルト本社との研究参画及びオプション契約終了に係る受取精算金 33 百万円を営業外収益に計上しております。

#### 2. 特別損失の内容

##### (1) 関係会社株式評価損の計上について（個別決算）

リブテックの株式について「金融商品に関する会計基準」に基づき減損処理を行い、関係会社株式評価損として 27 百万円を特別損失に計上しております。

##### (2) のれん償却額の計上について（連結決算）

リブテックの当初計画との差異により、連結決算で計上しておりましたのれんの全額を減損処理し、のれん償却額として 13 百万円を特別損失に計上しております。

##### (3) 子会社における固定資産の減損損失の計上について（連結決算）

今回の合併を機に、リブテックの保有する固定資産（工具、器具及び備品）について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額 2 百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該資産の回収可能価額は使用価値により測定をしておりますが、将来キャッシュ・フローに基づく使用価値がマイナスであるため、回収可能価額を零として測定しております。

##### (4) 固定資産除却損の計上について（個別決算）

ナノ医療イノベーションセンター（iCONM）への進出見送りに伴い、本社設備の一部を見直したため、固定資産除却損として 3 百万円を特別損失に計上する予定です。

#### 3. 特別利益の内容

受取和解金の計上について（個別決算）

インターネット上の掲示板において、当社及び当社役員に名誉棄損行為を行った神戸市在住の個人に対して損害賠償請求訴訟を提起していましたが、和解が成立し、受取和解金1百万円を特別利益に計上する予定です。

#### 4. 業績予想への影響

上記の関係会社株式評価損は、個別財務諸表のみで計上されるものであり、連結決算では消去されるため、連結決算へ与える影響はありません。上記の業績（連結）に与える影響につきましては、本日公表の「平成27年12月期 第2四半期決算短信」に、また、平成27年12月期の業績（個別）に与える影響につきましては、本日公表の「平成27年12月期業績予想、中期経営計画の修正並びに役員報酬の減額に関するお知らせ」に記載のとおりです。

以 上